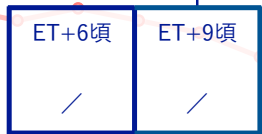
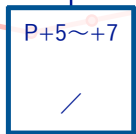
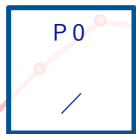
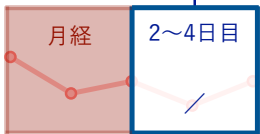


# 1 月経2～4日目からエストロゲンで子宮内膜を整えて排卵を抑制する

- 月経2～4日目から妊娠判定までエストロゲンを使います
  - エストラーナ1回3枚ずつを下腹部か殿部に貼付（1日おきに交換）
  - ル・エストロジェルを1回2プッシュずつ2回（朝・晩）両腕全体に塗布
  - プレマリン錠を1回2錠ずつ3回（朝・昼・晩）内服
- 子宮内膜厚が7mmを超えるまで超音波検査を行います

エストロゲン



- 月・水・木：14:00来院
- 火・金・土：11:30来院

プロゲステン

- プロゲステンを [ 22:00 / 10:00 ] 頃から使い始めます
- ルテウム腔坐剤を1日2回（朝・晩）腔内に挿入
- 排卵が起こっていないか確認する血液検査をします
- カテーテルが入りづらい方は頸管拡張を行います
- ※ 血液検査で排卵後の状態だった場合は、胚移植を中止します

※受付終了1時間以上前に来院ください

- 採血して着床を確認します

## 凍結胚移植

**[ 保険 / 自費 ]**  
 ※ 今回の治療を計画した時点で43歳未満であれば保険適用です（前回保険適用で全胚凍結した後の初回の凍結胚移植を除きます）。  
 ※ 保険適用の治療周期では先進医療ではない保険適用外の検査や治療（PRP療法、PGT、タクロリムス療法など）を併用できません。

- 月経10・11日目と12・13日目に採血（20 mL）して多血小板血漿（PRP）を子宮腔に注入します
- 食事は軽くとり [ 9:00 / 15:00 ] に来院してください
- 調整に約1時間かかります

PRP

# 2 内膜厚が7～8mmを超えたらプロゲステンで着床準備状態にする

# 3 胚移植

- 食事を普通にとり、ナプキン、生理用ショーツを持参ください
- 【手順】 胚培養士の説明→着替え→胚移植→希望があれば病室で静養
- ※ 胚移植後に月経様の出血があっても着床していることがあるので、薬を使い続けて予定どおりに来院してください

# 4 着床確認

# 5 妊娠判定

- 採血して妊娠を判定します
- 妊娠した場合はエストロゲンとプロゲステンを妊娠8週頃まで継続します

